

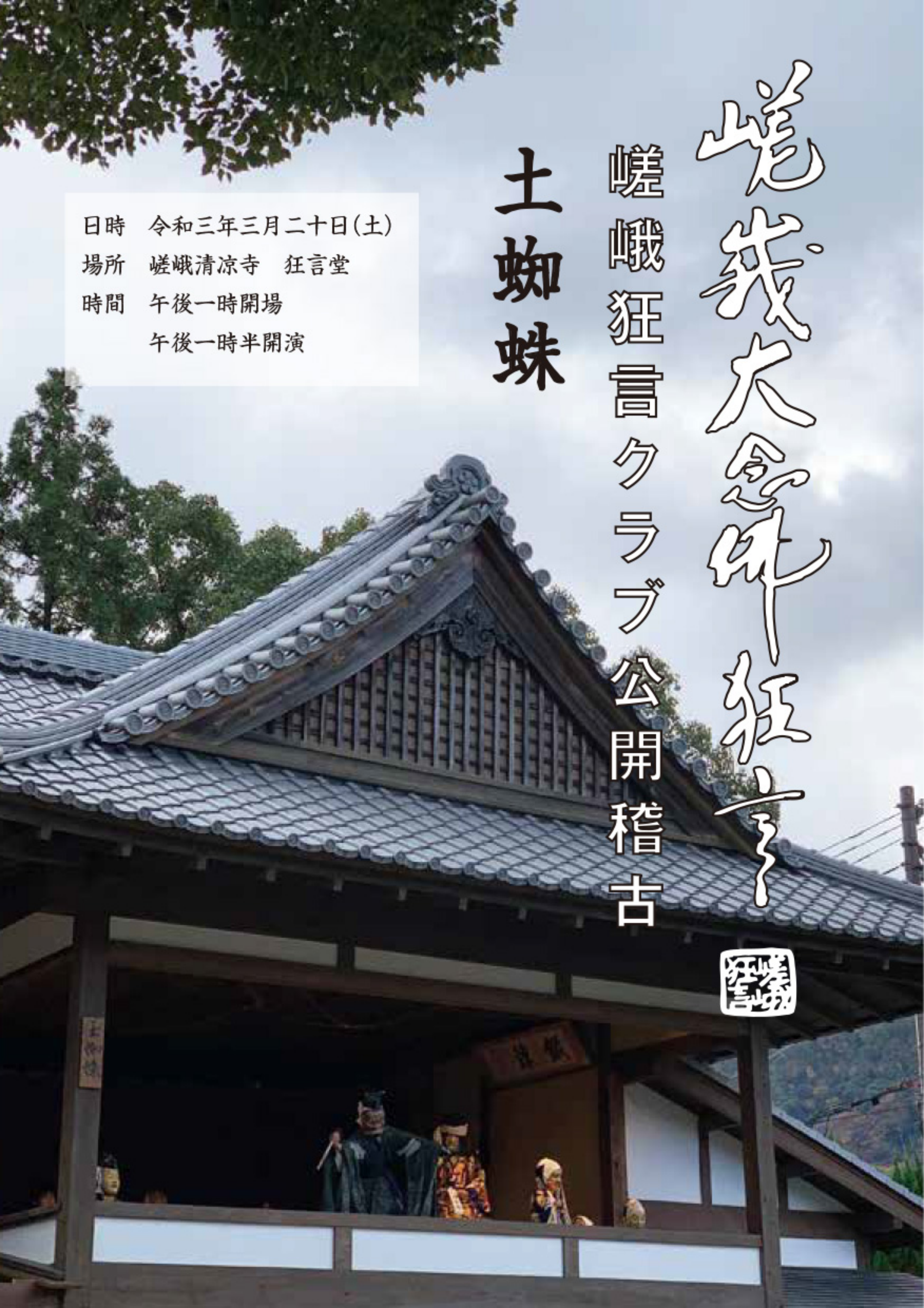
嵯峨我大念年狂々



嵯峨狂言クラブ公開稽古

土蜘蛛

日時 令和三年三月二十日(土)
場所 嵯峨清凉寺 狂言堂
時間 午後一時開場
午後一時半開演



土蜘蛛

特別編

おはなし

源頼光が元氣のない様子で家来たちと登場します。頼光は家来たちにお酒を振る舞い、酒盛りを始めました。しかし、飲み続けているうちに具合がもっと悪くなってしまい、眠り込んでしまいました。

家来たちは、頼光を置いて控えの間に立ち去りました。すると土蜘蛛が現れます。それに気がついた頼光と斬り合いなり、土蜘蛛は逃げ去りました。

騒ぎを聞きつけた渡辺綱と平井保昌、太刀持が戻ってきます。頼光は綱と保昌に土蜘蛛の退治を命じ、太刀持と一緒に退場します。

綱は、土蜘蛛を退治するために腰元剣士を呼び寄せ、三人でたすき掛けをして戦いの準備を整えました。

綱と保昌は松明をかがげて屋敷の中を探ります。先に屋敷の奥に行っていた腰元剣士と子蜘蛛が出くわし、戦います。逃げられます。

次に、屋敷を探っていた綱に土蜘蛛が襲いかかり、太刀廻りとなりました。土蜘蛛は逃げ去ります。続けて、保昌と逃げた土蜘蛛が鉢合わせをして戦いになります。再び土蜘蛛に逃げられそうになったところに綱が登場。綱と保昌の二人で挟み撃ちにし、土蜘蛛を追います。激しい戦いの末、刀で刺し、合流した腰元剣士がとどめを取って揚々と退場します。

配役

源頼光	片野慶大(嵯峨小六年)
渡辺綱	山崎沖七(正親小四年)
平井保昌	高瀬弥太郎(御室小四年)
酒持	川口蒼樹(広沢小六年)
太刀持	松本理玖(嵯峨小二年)
腰元剣士	松本紗奈(嵯峨小五年)
腰元	田部井柚羽(嵯峨小四年)
頼光家来	北村孟裕(西京極小二年)
子蜘蛛	爲季新太(嵯峨幼稚園年長)
土蜘蛛	延原啓太(夢窓幼稚園年少)
爲季	松本波留(嵯峨幼稚園年少)
子蜘蛛	爲季なぎ(嵯峨小五年)
川口沙羅	片野央治郎(嵯峨小三年)

※都合により、変更する場合があります。

今回は特別編！

嵯峨大念佛狂言で演じられる「土蜘蛛」は、土蜘蛛と頼光、綱、保昌、太刀持の5名で演じますが、今回は特別編。子ども狂言クラブ全員が舞台に出られる様に登場人物を増やしました。子蜘蛛や腰元剣士、小さな頼光家来たちの活躍にも注目です！

〔後見〕
小西 小三郎

橘 隆仁

小檜山 一良

松井 銀司

〔囃子方〕

加納 敬二(鉦・太鼓)

近藤 奈央(笛)

〔着付方〕

小西 葉子

中川 登志子

〔解説〕

加納 敬二

※いずれも嵯峨大念佛狂言保存会会員

公開稽古直前 練習風景メモリー



頼光が蜘蛛退治を命じる。



酒持が頼光へ盃を渡す場面。



子蜘蛛は二匹一緒に腰元剣士と太刀廻り。



綱と土蜘蛛の対決。
蜘蛛の糸を投げ広げる場面は見どころ。



今年度で卒業の片野慶大くん(右)と
川口蒼樹くん(左)



腰元剣士は薙刀を持って登場。



物語のクライマックス。
綱と保昌が土蜘蛛を
挟み撃ちにする。

嵯峨狂言豆知識

「大念佛狂言とは？」

「嵯峨大念佛狂言」は、壬生狂言やゑんま堂狂言と並ぶ京の三大念佛狂言の一つで、国の「重要無形民俗文化財」に指定された伝統芸能です。

鎌倉時代中期に円覚上人えんがくしやうにんが融通念仏ゆうとうねんぶつを広める手段として、仏の教えをわかりやすく無言劇にして見せたのが始まりと伝えられています。

以来、約七百年の間、嵯峨の里人の親から子、子から孫へと大切に守り伝えられてきました。

一般的に知られている、能のあいだに演じる狂言との違いは、全員お面をつけること、そして無言劇であることです。

昔、「大念佛だいねんぶつほうかい法会」に集まる大勢の人々に仏の教えを伝えるのには声が届かず、識字率しきじりつも低く、文書が使えなかったため、パントマイムむこんげき（無言劇）が有効だったのでは、と考えられています。

こうして始まった大念佛狂言は、江戸時代に歌舞伎かぶきや能の要素が加わり、現在のような演目の形になっていきました。「土蜘蛛つちぐも」や「船弁慶ふねべんけい」など、能や歌舞伎でお馴染みの演目も多く残っています。



保存会と子供狂言クラブでは
随時メンバーを募集中です。
興味のある方は是非ご連絡下さい。
加納 敬二 (☎080-1414-4864)

嵯峨大念佛狂言保存会 今後の日程

■京の三大狂言写真パネル展

日時／開催中～令和3年6月20日(日)

場所／右京ふれあい文化会館

■春の定期公演

日時／令和3年4月4日(日)

4月10日(土)

4月11日(日)

場所／清凉寺 狂言堂

時間／いずれも1時半～4時半頃まで

■京の三大狂言公演(有料)

日時／令和3年6月20日(日)

場所／右京ふれあい文化会館

